

平成23年度

ティーンズミーティングの概要

～私たち子どもは、地域のことや人とのつながりについて、こんなことを考えています～



平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち1人ひとりが大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取り組みの一つとして、子ども目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かしていくために、小・中学生の思いや考えを聴きました。

平成23年度は、7月上旬～8月下旬、小・中学校9校で各1回、10人程度のグループをつくり、「つながり」をキーワードに「ティーンズミーティング」を聴きました。
<小学生（5・6年生）70人、中学生28人に意見を聴きました。>

子どもたちの思いや考えに耳を傾け、子どもが健やかに育つために、何が必要かを考えてみませんか。

第1部「地域での大人と子どものつながりについて」



小学生の意見

【地域の好きなところ】

- ◆近所の人が声をかけてくれる、安全を見守ってくれる
- ◆公園で楽しく遊べる
- ◆お店が多くて便利

【地域の好きでないところ】

- ◆迷惑行為をしている人がいることなどから、公園で遊びにくい
- ◆まちにごみが捨てられている
- ◆迷惑行為をしている人がいるなど、治安に不安がある

【地域をよくするために、大人にしてもらいたいこと】

- ◆安心して公園で遊べるようにして欲しい
- ◆まちにごみを捨てないようにして欲しい

【地域をよくするために、子ども自身ができること】

- ◆自分のごみは自分で捨てる
- ◆清掃活動をする
- ◆迷惑行為をしている人がいれば、注意する
- ◆人の迷惑になるようなことをしないように、ポスターなどを作り呼びかける

公園に関する意見が多く、公園が大切な場所であることが改めて分かりました。多くの子どもが、綺麗なまちで生活したいと思っていることが分かりました。日常生活で安全・安心面での不安を抱えていることが分かりました。

【地域の大人と、一緒にしてみたいこと】

- ◆昔の遊び（メンコ、お手玉、折り紙の折り方など）、お米の作り方、畑仕事、スポーツなど、普段教えてもらえないことなどを教えて欲しい
- ◆スポーツ、遊び、お祭り、キャンプなどを一緒にしたい

大人の力を借りていろいろなことをしたい、という思いを持っていることが分かりました。

中学生の意見



【地域の好きなところ】

- ◆近所の人が声をかけてくれる
- ◆生活がしやすく便利
- ◆まちに活気がある

【地域の好きでないところ】

- ◆不審者がいるなど、治安に不安がある
- ◆まちにごみが捨てられている
- ◆パチンコ屋の前の道路が狭いなど、子どもにとって安全でない道路がある
- ◆空気や川が汚いなど、自然環境が悪い
- ◆不法駐車や信号無視をするなど、自動車や自転車の運転マナーが悪い

【地域をよくするために、大人にしてもらいたいこと】

- ◆まちにごみを捨てないようにして欲しい
- ◆交通ルールを守って欲しい
- ◆不審者対策などをして欲しい
- ◆子どもともっと会話をして欲しい

小学生と同様に、多くの子どもが、綺麗なまちで生活したいと思っていることが分かりました。日常生活で安全・安心面での不安を抱えていることが分かりました。

【地域をよくするために、子ども自身ができること】

- ◆人の迷惑になるようなことをしない
- ◆清掃活動をする
- ◆迷惑行為をしている人がいれば、注意や通報をする

人の迷惑になるようなことをしない、という意見が多くありました。

【地域の大人と、一緒にしてみたいこと】

- ◆スポーツ、お祭り、仕事の体験、清掃活動、行事を一緒にしたい
- ◆昔の遊びやお祭りの太鼓など、普段教えてもらえないことなどを教えて欲しい

仕事の体験やお祭りの企画など、社会参加を希望する意見もありました。

第2部「子ども同士のつながりについて」

小学生の意見




自分が困っている時、どうしようと思う？

【友達との間で、困ったことがあった時の解決方法】

- ◆家族（親、兄弟、祖父母）、友達、先生、近所の大人など、第三者に相談する ◆子ども同士で解決する
- 【友達との間で、困ったことがあった時、大人に助けて欲しいこと】
- ◆大人が入ると話が違う方に行くことがあるので、子どもで解決できるうちは、間に入って欲しくない
- ◆危険な状況の時には、大人に助けて欲しい ◆先生に話し合いに入って欲しい
- ◆普段の生活の中で相談したい

できるだけ、子ども同士で解決したい、という思いが表れていました。 


【パンフレットなどで紹介されている相談窓口に相談しにくい理由】

- ◆勇気がある ◆アドバイスをもらっても解決しないと思う ◆秘密が守られないと思う 

相談窓口は、子どもにとって身近でないことや、どのように助けてくれるかあまり知られていない可能性があることが分かりました。

友達が困っている時、どうしようと思う？

【友達が困っている時にしてあげたらよいこと】

- ◆相談に乗る、助けてあげる ◆勉強で困っているのなら、教えてあげる 

何らかの形で困っている友達に関わり、助ける方向に行動するという意見が多くありました。

【友達を助けてあげることが必要な理由】

- ◆友達だから ◆問題がエスカレートすると思うから ◆友達だと思ってもらえなくなる
- ◆自分も困っている時に助けて欲しいから

中学生の意見




自分が困っている時、どうしようと思う？

【友達との間で、困ったことがあった時の解決方法】

- ◆家族（親、兄弟、祖父母）、友達、先生など、第三者に相談する ◆他人には相談しない、自分で解決しようとする ◆自然に任せる ◆子ども同士で解決する
- 【友達との間で、困ったことがあった時、大人に助けて欲しいこと】
- ◆決めつけずに話を聞いてくれると相談しやすい ◆話を聞いてくれるだけでよい
- ◆普段の生活の中で相談したい

意見の多くに、大人には真剣に話を聞いて欲しい、という思いが表れていました。 


【パンフレットなどで紹介されている相談窓口に相談しにくい理由】

- ◆知らない人に相談することには、抵抗感がある ◆まず自分を知っている人に相談する
- ◆相談する必要がない 

小学生と同様に、相談窓口は、子どもにとって身近でないことや、どのように助けてくれるかあまり知られていない可能性があることが分かりました。

友達が困っている時、どうしようと思う？

【友達が困っている時にしてあげたらよいこと】

- ◆相談に乗る、助けてあげる ◆そっとしておく 

小学生と同様に、何らかの形で困っている友達に関わり、助ける方向に行動するという意見が多くありました。

【友達を助けてあげることが必要な理由】

- ◆友達が辛くなっていく ◆問題がエスカレートするから
- ◆ずっと暗い気持ちでいられると、自分も辛い

フリートーク

ティーンズミーティングの最後に「フリートーク」の時間を設け、「尼崎市がどんなまちになって欲しいか」などについて、意見をもらいました。

小学生の意見

【尼崎市がどんなまちになって欲しいか】

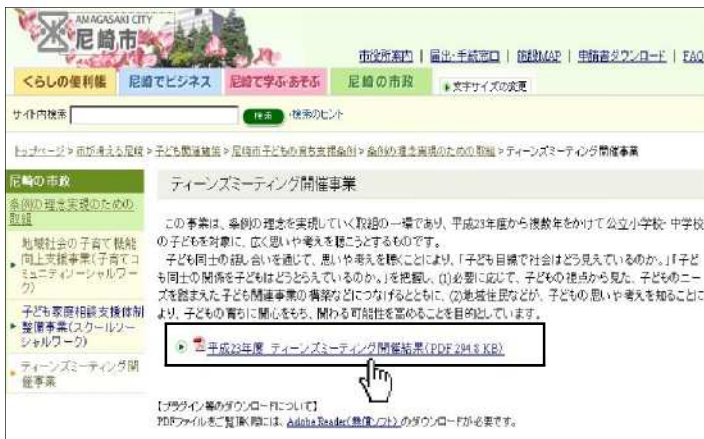
- ◆綺麗なまち、清潔なまち ◆安全・安心なまち ◇皆が笑顔になれるまち ◆皆が好きになるまち

中学生の意見

【尼崎市がどんなまちになって欲しいか】

- ◆安全・安心なまち ◆明るく、賑やかなまち ◆綺麗なまち、清潔なまち ◆地域のつながりがあるまち

第1部の「地域の好きではないところ」が少しでも良くなって欲しいという意見が多くありました。



「平成23年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、尼崎市の「ティーンズミーティング開催事業」のホームページをご覧ください。

ティーンズミーティング開催事業ホームページ

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/si_kangae/kodomo_sesaku/046kodomojourei/18842/046teens.html

尼崎市 こども青少年局 計画調整課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号 06-6489-6341 ファックス 06-6489-6373

Eメール ama-kodomokeikakuchosei@city.amagasaki.hyogo.jp

ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>